

ところざわ

平成17年度定期総会開く

業績向上きで

明るいつスタート

「全議案、可決」

(社) 所沢市シルバー人材センターの平成17年度定期総会が5月24日午後1時半からエスポワール「晨麓苑」で開催された。

さわやかな晴天に恵まれ、出席者359名委任状952名と合わせて1千311名の参加で盛大な総会となった。

秋山理事長の挨拶、来賓祝辞の後、議長に渡邊光信氏(新所沢東地区)を選出し議事に入った。

第1、第2号議案は平成16年度の事業報告及び収支決算報告と監査報告。第3、第4号議案は平成17年度事業計画と収支予算が審議され、それぞれ原案通り可決された。

第5号議案では上田専務理事の退任に伴い小ノ澤氏が新専務理事として承認された。議事終了後、今回退任された上田前専務理事に対し感謝状が贈呈され、平成17年度定期総会は無事閉会した。今回の総会では会員数が増えたこと、当センターの事業が順



調に伸びたことで、見通しの明るい活気にあふれたスタートをきった。総会終了後、引き続き宴会場で懇親会が行われ賑やかに歓談が交わされた。(中村記)
(詳細は2、3ページ)



理事長挨拶

秋山 脩

本日は、平成17年度所沢市シルバー人材センター定期総会の開催に当たりまして、所沢市を始めご来賓の皆様には、公務ご多用のなか、ご出席を賜り誠に有り難うございます。

また、ご参会会員の皆様には益々ご健勝にて、センター事業の拡充・推進にご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、記録的な猛暑や集中豪雨、そして新潟県中越地震など、全



国各地で大きな自然災害が多発した年でした。さらに年末は、スマトラ島沖地震が発生し、インド洋沿岸の国々が大災害に見舞われました。被災された方々に対しましては、一日も早い復興をお祈り申し上げます。本年は、自然災害のない年でありますようお願いいたします。

一方、日本経済は企業収益の改善

設備投資や個人消費の増加など民間主導で回復してきたと言われておりますが、いまだ高齢者を取り巻く雇用環境は非常に厳しい状況にあります。こうしたなか、市・関係機関をはじめ発注者の方々のセンターに対するご理解とご協力に心からお礼を申し上げます。

本日の総会には、五項目の議案をご提案申し上げます。

一つには平成16年度の事業報告並びに収支決算であります。お陰を持ちまして受注高は約7億5千9百万円に達し前年度に比較して1億4千2百万円に迫る増加額を示しましたことは、ひとえに会員皆様のご努力とご協力の賜であり、厚く御礼申し上げます。

安全就業につきましては、昨年6月に開催された全国シルバー人材センター事業協会の総会において、多年にわたり会員の安全就業に尽力した功績に対し、表彰を受けましたが、16年度は前年度より3件多い14件の事故が起きておりますので、一層の安全就業を推進し、事故防止の徹底を図って参ります。

平成17年度の事業計画・収支予算の目標として、契約高7億3千万円、

総会報告

総会は田中副理事長の開会の言葉に続き、秋山理事長の挨拶（上段に掲載）で始まりました。続いて斎藤所沢市長、岩城市議会議長、当麻県会議員よりそれぞれ、祝辞を頂きました。この中で、高齢化の高まりと共に、福祉行政の一翼を担う、シルバー人材センターの役割に期待を寄せられました。続いて来賓列席者紹介、祝電披露の後、休憩を挟み、議事に入りました。



議長に渡邊光信氏（新所沢地区）議事録署名人に陸浦孝之氏（中央地区）

大坂秀吉氏（山口地区）書記に山内康子氏（柳瀬地区）両角博美氏（事務局）を選任、事前に配布された議案書により、5議案が審議されました。

まず、第1、第2議案として、平成16年度事業報告、収支計算及び財産目録の承認が一括上程され、上田専務理事より、詳細について説明がありました。前年度に比し会員227名

増、受託契約金額は1億4千2百万円（23%）増、就業率は81・8%（目標は78%）といずれも目標を上回る実績をあげたとの報告。これは「市立公民館の施設管理業務」や「広報ところざわのポスティング業務」の受託により、未就業者の解消に努めた結果であるとの分析があり、満場の拍手で承認されました。

次に佐藤武夫氏が幹事を代表して「業務の執行状況は適正、且つ決算書類は公正妥当である」との監査結果を報告し、承認されました。平成17年度事業計画（案）及び平成17年度収支予算（案）の第3、第4議案も一括上程、山川事務局次長より議案の説明がありました。17年度事業計画として目標契約高7億3千万円、目標就業率78%、その他、普及啓発事業の推進、高齢者生活援助サービス事業の推進など10項目の提案がありました。



収支予算

就業率は前年と同様78%といたしました。重ねて皆様方のご協力をお願いするところであります。

2年後には、いわゆる団塊の世代が60歳に達し、働くことへの強い意欲をもって入会される会員の増加が見込まれます。これに対し、就業機会の確保・拡大が困難な状況にございますことから、発注者並びに会員皆様方のご理解を賜り「就業の基準に関する要綱」を昨年の10月施行いたしましたして、就業の公平化と未就業者の解消に努めているところでございます。さらに、一人でも多くの会員が就業できるよう、就業機会開拓創出員を増員いたしまして、積極的な就業開拓の拡大に努める所存であります。また、本年も発注者の多様なニーズに適切に応えられるよう、各種の研修・講習会を開催して参ります。

以上、事業の概要を申し上げますが、私共は新しい時代の要請に応じていくため、会員を主体とする運営参加を積極的に推進して参りたいと考えております。



幸い、市・関係機関・発注者の深いご理解とご支援を賜り、また会員並びに役・職員皆様のお力添えとご協力のもと、お手元にお配りした議案書資料にもございますように、事業実績等相応の結果を見る事ができ、何よりと存じております。

詳細につきましては、事務局より説明を致しますので、慎重なご審議を賜り、ご承認頂きますようお願い申し上げます。

最後にご多用のなか、ご臨席賜りましたご来賓

の皆様様のますますのご健勝と、今後の一層のご支援、ご協力並びに会員皆様の安全就業の確保と、ご健勝、ご活躍を重ねてご祈念申し上げます。総会開会に当たってのご挨拶とさせていただきます。

算案では7億3千万円の内訳が説明され、両案とも異議なく承認されました。第5号議案は上田専務理事の退任に伴う新役員の審議で、小ノ澤徹二氏が提案どおり承認されました。滞りなく全議案が通過、議長は降壇。

今回で退任された上田前専務理事に対し秋山理事長より感謝状の贈呈があった後、岸副理事長が閉会の挨拶。午後3時20分総会を終了しました。(小島記)

退任のご挨拶

前専務理事 上田 勝紀



専務理事として平成14年4月就任して以来公私にわたりご指導ご高配を賜りましたことを心から感謝申し上げます。

多くの会員皆様との出会いの機会に恵まれて、センターに課せられた数ある命題の中で、新しい就業のルールであります「就業の基準に関する要綱」の制定や「広報ところざわ」の全戸配布業務など鋭意取り組むことができました。ここに重ねて感謝申し上げます。

終わりに、会員皆様のますますのご健勝・ご活躍とシルバー人材センターの更なるご発展をご祈念申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。

新役員紹介

役職名	氏名
顧問	斎藤 博
相談役	高野 英二
理事長	秋山 脩
副理事長	田中 文雄
専務理事	岸 啓二
専務理事	小ノ澤 徹二
理事	島 とみ
理事	山口 博
理事	五 社 よし子
理事	押切 辰弥
理事	九 鬼 春雄
理事	西 方 喜一
理事	村 上 和枝
理事	橋 本 英世
理事	前 田 元
理事	貫 井 弘久
理事	岩 渕 淑子
理事	小 檜 山 正幸
理事	富 田 実
理事	佐 藤 武夫
監事	小 林 晟

小ノ澤新専務理事就任

..... 信条は、「協力」.....

平成17年度の総会で承認され、上田前専務の後任として小ノ澤徹二氏が就任することになりました。

誕生日は昭和19年8月6日、現在川越市からお通いとのことです。ご趣味はゴルフとボーリング。信条をお聞きますと「協力」と答えられました。その「若さ」と協調性で1800余名の大世帯のシルバー人

材センターを引っ張って下さる事と期待しています。

抱負としては「今後、多くの高齢者の皆様が、健康と安全に留意され、楽しみながら、就業や社会活動に参加され、長く活躍する手助けができるよう努力したい。ご指導をお願い致します」と語られました。(島記)

親睦会総会

松井地区 吉松 直子

青葉、若葉の上を清々しい風が初夏を運んで来る季節となりました。去る5月24日、平成17年度親睦会総会が晨麓苑で行われました。

始めに伊藤会長より「親睦会も本年度で7回目を迎え、その経過と、これから年々増加する当センター会員と、それを取りまくさまざまな社会的、経済的状况の中で、今後センター事業は就業活動と親睦会活動が、共に車の両輪として発展する事

が望ましい」との話があり、続いて議事に入り提案された総会の議案も、参加者の同意を得て無事に終了しました。午後よりセンターの定期総会、引き続き懇親会に移り恒例となった親睦会合唱サークルの美しい歌声が華を添えました。

当日は晴天にも恵まれ、皆、元気に集い合えた事が何よりでした。来年度に向けて更なる発展と皆で楽しく活動できる様にと願うものです。

最後に親睦会総会に際して、センター事務局の一方ならぬご支援を頂き、深く感謝申し上げます。

健康一口メモ

認知症とは

「痴呆症」と呼ばれていた病名が昨年から「認知症」と変わりました。

認知症とは何らかの原因で脳の神経細胞が広範囲に侵され、本来あった脳の認知機能が著しく低下した状態の事です。原因は多種多様ですが、「脳血管性」と「アルツハイマー型」に分類され、前者は高血圧や糖尿病などで脳の血管が詰まったり傷ついたりして脳の神経細胞が広範囲に冒されるタイプであり、後者は原因は不明ですが脳の神経細胞が急激に減り脳が萎縮するタイプです。

認知症の症状は、①時間や日付が不確かになる②物の名前が出てこない③以前あった関心や興味が失われる④同じ事を何度も言ったり聞いたりする⑤置き忘れや仕舞い忘れが目立つ(財布を盗まれたと騒いだりする)⑥些細な事で怒りっぽくなる⑦以前よりだらし無くなる⑧計算の間違いが多くなる



保健師 和田喜美子

等です。認知症は早期発見、早期治療が重要ですから、症状が少しでもあれば早めに神経内科や精神科などで受診しましょう。脳は筋肉と同様に鍛える事で活性化し、認知症の予防につながると思われまます。

予防対策として①料理や編み物、ゲーム等で脳を活性化させる②「楽しいこと」「好きなこと」に自分のペースでチャレンジする③情緒の安定を図る、十分な睡眠も大切です④散歩がお勧め(1日20分程度)⑤食事の総エネルギー量を抑え、野菜や魚を積極的に摂る(特に緑黄色野菜を中心に)⑥甘い物を控え、水分を多く。甘い物を多く摂ると食事が疎かになったり、水分不足による脱水状態になったりして脳血管の障害が起こり易くなります。できることなら、水分は食事の分も含め1日1.5ℓ程度補給するよう心掛けましょう。

おしましーす

職場訪問記 (32)

武蔵野台地の緑豊かな自然に恵まれている所沢市の北西部に広大な敷地の墓地がある。以前、この地は雑木林であったのを西武不動産㈱が昭和49年5月に「所沢聖地霊園」として開発した。敷地面積は25万㎡(西武ドームの約7.5倍の広さ)、2万1千墓地の規模で、現在は1万9千5百墓地が建つ。交通の便もよく、所沢市斎場が隣接している。

今回は所沢聖地霊園を管理する西武緑化管理㈱の事務所を訪問し、そこで働くシルバー会員に仕事の内容や生きがい等について話を伺った。

この所沢聖地霊園には現在シルバー人材センターの会員男性8名、女性1名が2班に分かれて4〜5名が交替で就業している。当日は就業中の時間を割いて、快く取材に応じて頂いた杉本さん、戸ヶ崎さん、森田さん、黒崎さん4名の方にお逢いすることができた。

皆さんの就業期間は短い人で約2年、最長で5年近くになるそうだ。勤務は朝8時30分から16時30分ま

で。休日は年末年始と毎週水曜日(水曜日が祝日の場合は就業)。

仕事の内容は広い霊園内の清掃をはじめ、ゴミの選別、除草、枯れた花の回収、植木の手入れ等をおこなっている。また、春秋の彼岸・お盆の時期は大勢の墓参客で混雑するため、その時期にはシルバーからも応援に来るそうだ。

仕事で心掛けている事をお聞きしたところ「ここに墓参に訪れる人の心を和ませられるように、常にきれいにすることですね。よく作業中、お客さんに『ここは何時来ても綺麗



だね」と声を掛けられると嬉しいし、仕事にも張合いが出ますね」と話された。

また「ここでは屋外の作業が主なので、安全には十分注意しています。特に夏場の暑さは厳しいですね。ですが事務所の方も我々会員の年齢や作業内容を理解しておられ、仕事の仲間にも恵まれていて、自分達の健康状態に合わせて就業できるのが有り難く、いい職場ですね」と語られ、皆さん同じ思いのようでした。

健康法はの問いに「園内はきれいな空気、潤いある緑など自然が身近に体感でき、四季を通して森林浴もでき、仕事をしながら我々も癒されますね」との事。園内に漂うお香の匂いで気分が落ち着くのを小生も感じた。

最後に、趣味をお聞きしたところカメラ、ドライブや旅行などを各自楽しんでおられるようでした。

今回の取材で西武緑化管理㈱の萩原さんには貴重な時間を割いて快く対応して下さいから感謝しています。ここに働く9名の皆様、暑い盛りで大変でしょうが、今後とも健康に留意され、益々のご活躍をお祈りいたします。(岩崎記)

薄学駄話

赤緑色覚異常について

人の感じる色は網膜に感じる赤、緑、青、三つの感覚器の合成で説明されます。正常な色覚の人でも個人差があり、どれかの感度が特に弱いと見られているのが色覚異常です。

日本では男子20人に1人、女子の500人に1人が遺伝子によって先天的に現れ、稀に後天性の加齢や病気によっても発生します。この色覚異常は性染色体の伴性劣性遺伝により発現します。男性に多く、女性に少ないのは外に現れない保因者という形で存在するからで、日本女性の10%が保因者と言われています。

言葉のイメージから色が全く分からない写真のモノクロかセピアの世界では、と誤解されがちですが、色覚異常の程度は多様で条件によっても色の感じ方は本人以外理解しにくく、日常生活にあまり不便を感じません。ただ、一定の配色の場合に識別しにくい場合があります。例えば地下鉄の路線図等・・・

この色覚異常について、誤解や理解不足により必要以上に、社会差別や制限がありました。先駆者の努力や、社会の進展と共にようやく欧米並みに職業制限や入学制限が緩和の方向に動いてきました。色覚異常者にもノーマライゼーションが更に進められる事を願いたい。(粕谷記)

17年度事業計画

先日の理事会において承認を得た事業部会重点推進事項及び、報告された各会の活動計画です。

◆事業部会

センター事業を取り巻く環境を見ますと補助金削減など今までにまして、厳しい状況下であり、今後自己収入を確保しながら、より自立したかたちでの事業運営を行っていくことが必要となっています。そうした中、いわゆる団塊の世代の人達が定年を迎えシルバー世代に移行する平成19年度以降を見据えて単年度計画はもとより中期にわたり新しい時代に向けた事業を進める体制づくりをきちんと整備することが重要となります。今後限られた財源の中で事業の一層の効率的な運営に努めつつ運営の基盤強化を図り、更なる発展に向けて事業部会は次のような事業を推進してまいります。

〔重点推進事項〕

①センター運営の推進

- ・団塊の世代の入会を視野に受け入れ体制整備
- ・新規雇用創出（ホワイトカラー対

応職種）と効果的な就業開拓活動の推進

②センター事業体制の強化

- ・会員増大に伴う業務の事務合理化を推進
- ・会員による事務系センター運営への参画を図る

③独自事業の展開とあり方

- ・独自事業の開発や種類は、会員が創意工夫を凝らして推進し自主管理体制の確立を目指す
- ・独自事業の実施にあたっては、収支の均衡することを十分に考慮し実施する

④就業意欲の向上

- ・技能等研修
- ・未就業会員の減少と高就業率の確保

◆会員安全就業推進委員会

平成17年度委員会活動が始まり早くも4ヶ月目に入りました。今年度こそは『事故ゼロ』と思いましたが、残念ながら早くも3件（5月31現在）の事故が発生しております。これ以上の事故を防ぐため会員皆様の協力を頂きながら次の項目に基づき活動します。

〔重点活動項目〕

①就業現場巡回

就業先に委員が直接訪問し、会員と安全就業について対話形式で懇談いたします

②事故発生現場検証、事事情聴取等の実施

事故発生の状態、状況を現場に出向き分析します

事故当事者である会員に委員会開催時に出席を依頼し、状況説明を求めます。

③安全研修会の実施

《委員研修》委員自らも安全についての研修を行い、就業現場巡回や会員安全研修時に役立てます

《会員研修》救命／途上事故／各地区ビデオ研修会等を実施し、多くの会員に安全の意識向上を図ります

④安全週間の実施

毎月1日から7日までの一週間を安全週間と定め、意識向上を図ります

⑤他市訪問

近隣市町村等の先進的活動を実施しているセンターを訪問し、当委員会活動へフィードバックし活動計画の活性化を図ります

◆婦人部

本年度もつぎの3点を目的に、活動します。

動します。

- ・会員相互の親睦と連携をはかる
- ・婦人会員の就業機会を増やす
- ・社会福祉に協力する

〔具体的活動内容〕

①婦人部のつどい

平成17年6月17日（金）

親睦・就業体験談等

②社会見学

時期・場所は未定

③古布収集（老人ホームへ寄付）

5、8、11、2月の第3火曜日

午前10～12時受付

④その他

福祉・家事援助事業に係わる研修
・講習会への積極的参加、協賛

◆広報部会

①活動内容

「シルバーだより」を年度内に4回「シルバーだより号外」を必要に応じ随時発行

②17年度の方針

- ・公共機関を通じ、シルバーだよりを積極的に紹介、広く市民の理解を得るようにする
- ・インターネットを利用し、ネット上でPDFファイルにより幅広く紹介する

アコースペース

カラオケを通して

交流の輪を広めています

三ヶ島地区 原島 正子

最近、心身の癒しにはカラオケが大変に良いと言われています。

先日、ある民放のラジオで、カラオケは歌っているだけでも風邪などの予防にもなると、話されているのを耳にしました。

この頃では、人の集うところカラオケありで、熟年の人、若い人、男も女もみんな歌を楽しんでいるようです。

三ヶ島地区では、3月末で会員数も252名となり、その後も増え続ける傾向にあります。

そこで、地区活動として定着してきました班長会議や地区懇談会の他に、何か会員の皆さんと交流を図る機会はないものかと模索してありましたところ、女性の皆さんからカラオケとの声が挙がりました。おもに女性に向けて呼び掛けをおこなったところ、多くの方々のご賛同を得る

ことができ「からおけ・たんぽぽ」の会を昨年5月に立ち上げました。

皆さんの後押しを受けながら早いもので1年が経ちました。立ち上げに際しては、親睦会の伊藤さんにご助言を頂き、また地区の橋本さんを始め、多くの方々のご協力を得ながら進めて参りました。

当初は10名程のこじんまりしたものでしたが、皆さんのご協力のお蔭で、いまでは30名余りの参加が見られるようになりました。

毎月2～3回のペースで、狭山ヶ丘コミュニティセンターをホームベースにして、歌うのが大好き、聞くのが大好き、おしゃべり大好きの仲間達が、その時々で都合のつく人12～13名が集まって楽しんでおります。

なお、去る5月には「からおけ・たんぽぽ」の誕生1周年を記念したイベントを「奥武蔵あじさい館」でおこない、ご参加いただいた多くの皆さんと共に楽しい1日を過ごすことができました。



旅先で想つ「平和」

新所沢地区 五社よし子

4月早々、緑豊かなホーチミンに家族で行ってきました。活気溢れる街、洪水のように流れる車とバイク、信号のない道路……。道路を横断するのもボンヤリはしていられません。

歩道には天秤棒を担いでマンゴスチンを売る青年、ジュースを売るおばあさん、皆一生懸命生きています。



目的のクチトンネルと戦争証跡博物館は街の賑やかさとは全く違い、思わず息を吞みます。クチの地下ト

ンネル(写真)はベトナム戦争当時は250kmもあつたそうですが、今は観光用に100m程。日本語ガイドから「お母さんは無理です」といわれ、私は地上の道を歩きました。30年前には枯れ葉剤で草一本なかったとは想像も出来ない林。樹々は一本ずつ手で植えたそうです。戦争当時、昼は農業をし、夜にコツコツとトンネルを掘り、掘り出した土は見つからない

ように、少しずつサイゴン川に流れて始末したそうです。地下3階まで、9mの深さがあります。会議室や、生活の場もあります。炊事場の煙を出さない工夫、米軍に対する落とし穴の工夫など、祖国を守ろうとする人々の智慧に感服します。

戦争証跡博物館には枯れ葉剤による奇形児のホルマリン漬けが2箇(4体)涙がでます。米兵による拷問の様子、傷ついた人々を見るとまいがしそうです。当時、ニュースになつたピューリッツア賞受賞者のカメラマン沢田教一さんは大きく紹介されていました。

暗い事ばかり書いてきましたが、楽しいことも沢山ありました。食べ物の美味しさ、値段の安さ。あるレストランでは琴の生演奏をしていましたが、私達のために「花」その他日本の歌をサービスしてくれました。気遣いが嬉しく拍手を送ったところ、演奏の若い女性もニッコリ。60年間も平和が続いた日本、当たり前のように思っています。世界には戦争で家や家族を失っている人が沢山いることを、目の当たりにし、世界中の平和を祈らずにはいられません。

が放映中の大河ドラマ義経ゆかりの地。鳴子は紅葉の見事なみちのくの名湯。いずれも芭蕉が数々の名句を残し



平泉：中尊寺（金色堂）

会員親睦旅行

例年、秋に実施している会員親睦旅行は本年度は平泉中尊寺と鳴子温泉に決まりました。平泉は今NHK



《シルバー豆宣伝》

こんな仕事をしています

公民館、駐車場・駐輪場、公園、その他の施設管理、家庭の植栽剪定・除草作業、簡単な大工仕事、福祉・家事援助サービス、軽作業等。以上はほんの一例です。一般家庭や企業等から幅広い注文に応じています。

お問合せをお待ちしています。

電話 04-2928-8695

就業会員募集!!

これから繁忙期になる除草作業の就業希望者を募集しています。

特に夏、暑い中での作業でもあり、泥まみれにもなりますが、体力に自信のある方、やってみたいという会員は事務局迄ご連絡ください。

- 日時 9月15(木)～16(金)日
- 会費 2万円
- 7、8月の分割払いも可です。
- (7月末迄に1万円、8月20日迄に1万円)



ている景勝地です。是非、多数ご参加ください。募集人員は120人。7月1日から申し込みを受け付けています。定員になり次第締め切りますので、申し込みはお急ぎください。事務局で取り扱っています。

婦人部のつどい

梅雨もひと休みの6月17日午後



婦人部の集いが行われました。出席者54名、講話会では消費生活センター相談員・武澤真紀子氏の『悪質商法』についてが大

変好評でした。

その後、就業体験談、懇談会と続き楽しく有意義な一時でした。

五社よし子

お知らせ



【健康相談日】

- ・8月18日(木) 午後
- ・9月22日(木) 午後
- ・10月20日(木) 午後

【事務局新メンバー紹介】

就業機会開拓創出員として、小澤逸材氏が入りました。

あとがき

●50年来の親友が言う。「この歳になつて初めて見えるものがある」と。そう、「夕闇が迫ると、昼には見えなかった星が天いっぱいに現れる」ってアメリカの詩人も言っていたよね。

●老いにつれ 心の楔 抜け落ちて 装いいらぬ 身軽さを知る (粕谷)

●また、暑い夏がやって来た。予報では昨年比べ、今年は猛暑は免れそうだが、屋外で就業される会員の皆さんには体調を十分に整え、暑さを乗り越えて下さい。 (岩崎)

●PTA時代、一度はやってみようかと思っていた係りでした。今頃になつてその役が回ってくるなんて……世の中捨てたものではありません。初心に返ってお手伝いさせていただきます。どうぞよろしく(中村)

●今回、広報委員をお引き受けすることとなりました。経験がないので迷ったりする事もあると思います。反面、物事を始めたり、教えて貰う期待でわくわくしております。その気持ちを大切に頑張ります。(小島)